関東農政局長賞

特定非営利活動法人民間稲作研究所

〔有機農業・環境保全型農業部門〕

～国内外の有機稲作栽培技術の向上と普及拡大に貢献～

＜基本情報＞

○ 所　在　地:　栃木県河内郡上三川町
○ 取組開始:　平成12年

＜取組概要＞

○ 経営面積:　509.9ha（令和元年）
○ 構　成　員:　131人
○ 主要作物:　水稲、麦、大豆、油糧作物

〈土づくりの取組〉

○ 収穫直後に、オカラと米ぬかの発酵肥料を散布し、生わらと土に混和することで発酵を促し、同時にユスリカ、イトミミズなどの小動物が増え、生物多様性が豊かに育まれる土づくりを実践。

○ 大豆の持つ窒素固定能力を活用して大豆ー麦類ー水稲を輪作することで、連作障害を回避しつつ安定多収を維持。

＜地球温暖化防止や生物多様性保全等の取組＞

○ 大豆ー麦類ー水稲の輪作体系は、大豆の持つ窒素固定能力による投入肥料の削減とともに、冬期間の麦栽培によるカバークロップとしての炭素貯留効果も得られ、温室効果ガス削減による地球温暖化抑止に繋がる取組。

＜除草剤も除草機も使用しない雑草抑制の取組＞

○ 雑草の発芽生長の特性を明らかにし、水稲栽培において、雑草が発生してから除去するという従来の手法ではなく、代かきの工夫と深水管理によって、移植後は水田に入らない「雑草の発芽抑制技術」（雑草と共生する省力技術）を開発。

○ 大豆、麦類についても、輪作の効果により中耕で雑草の発生を抑える技術を確立。

〈地域内外の消費者への情報提供と体験活動の取組〉

○ かみのかわ有機農業推進協議会とともに、年数回の市民講座、有機稲作体験プロジェクト、マイオイル体験プロジェクトなどを開催し、消費者への食育活動を実施。